

ふるさとにある「原爆の図」

東京秩父別会 会長 赤松 淳次

環境モデル都市宣言

東京下川会 事務局長 宮沢 国雄

ふるさとは、屯田兵とその家族により開拓され、開基115年も過ぎ広大な田園の町になり北空知地方の要に成っています。農産物のお米を始め北海道ふるさと連合会主催の産直フェアではお馴染みの大妻美味しいトマトジュース「あかずきんちゃん」の里であります。故郷も100年を越えると産業は農業のみにあらずして変貌し、町には秩父別温泉チップ、ゆう&ゆ、ローズガーデンちっぷべつ、めえーめえーランド等観光施設も出来てとても味のある町です。

今回は私の先祖が四国琴平の真宗興正派常照寺から明治25年北海道に布教に渡った後、この地に開いたお寺にある「原爆の図」を紹介いたします。

寺は町の外れにある真宗興正派 秩山西勝院善性寺であります。寺の孫娘として育つた画家の丸木俊(旧姓 赤松 俊子)が65年前広島市に米国が落した新型爆弾の惨状を描いた「原爆の図」の一部が同寺に原爆の図丸木美術館分館として常設されております。本堂の大横絵他沢山の夫婦の絵が展示してあります。

この絵は、広島出身の夫の丸木 位里と被爆地に近い実家を訪ね広島市街の被爆した悲惨な状態をこの世に知らせ残す為に一生を掛けて描いた水墨画です。

今日も世界の各地で多くの人々が観ております。帰郷の際には一度足を伸ばしてこの絵をご鑑賞下さい、第2次大戦の終末の地獄を観ることが出来ると思えます。

ふるさと下川町は、低炭素社会への転換を進め国際社会を先導していくという平成20年1月18日の福田内閣の施政方針演説を受け開始された「環境モデル都市」の募集に応募し、20年7月帯広市や横浜市と共に5市1町の中の唯一の町の代表として、福田首相から環境モデル都市として選定されました。

この指定を受け下川町は、持続可能な地域を未来に引き継ぐために、平成21年3月10日環境都市モデル都市宣言を行いました。

1. 先人達から受け継いだ森林と大地を守り、次の世代に伝えます。
2. 恵まれた地域資源が循環する。持続的な社会の構築を目指します。
3. 地域の特性にあつた資源を活かし「エネルギー自給のまち」を目指しますなど、東京下川町会会員は頑張っている下川町を「ふるさと納税」等で支援していきます。



丸木美術館収蔵
「水」

積丹の拠点

道の駅 岩内

ホテル いのう

IWANAI HOTEL INOU

〒045-0011 北海道岩内町字栄161-1

TEL. 0135-62-1391 (代)



●客室数
シングル 58
ツイン 8

宿泊料金
1名(朝食付)
6,500円より

辯護士 安井規雄

(東京東神楽会 会長)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-13
虎ノ門上野ビル3階
安井・好川法律事務所
TEL 03(3580)1811(代)
FAX 03(3580)1812

HOKKAIDO DISHES in Ginza

北海道大地の獲りたて食材にとことんこだわったカウンターカフェ



東京都中央区銀座7-8-6
phone 03-5568-5959

北海道のおいしさ。ボリュームたっぷり。新鮮な季節野菜とお肉を、じゃがいも生地(インカのめざめ)奥煎りも使用)で包んだ日本初のヘルシーなポテトラップ。(200kcal 前後)

Open 平日11:00~21:00 土日祝日11:00~20:00
http://www.hokkaido-d.com